

# 国が変わるのを待ってられない！

## 地域・自治体から希望の選択肢を

4月20日(土)

日本教育会館でお待ちしています。

「ウソツキは政治家の始まり」と子どもたちが言い始めるほどに、「裏金」や「旧統一教会」との浅からぬ関係について、政治への信頼は地に落ちるほどです。私たち、ローカルイニシアティブネットワークは、自治体からよりよい社会へと改善していくための取組みを共有して、「希望の旗」を掲げてきました。

国と地方自治体の関係は、かつてのような上下関係ではありません。しかし、すでに沖縄では辺野古新基地の設計変更をめぐって、沖縄県の不承認をくつがえして国は初の代執行を強行しました。また大規模災害や感染症危機の際に、国が地方を指示できる権限を付与する地方自治法改正案が提案されようとしています。「地域主権という希望」の真価が問われています。

当日、全体会1~6つの分科会を用意しました。みなさんとの意見交換を楽しみにしています。

保坂展人 (LIN-Net 世話人、世田谷区長)

### 分科会の概要

1

#### 都市再開発と住民参加 上意下達型からの転換

保坂展人 (世田谷区長・コーディネーター)  
小林正美 (建築家・明治大学教授)  
西川直子 (建築ジャーナル編集部)  
池尻成二 (練馬区議会議員)

首都圏では空前の再開発ブーム。既存の商店街や街区を再編して高層ビルを基軸にした再開発計画を住民が知るの最終段階、説明会は異論や修正を受け付けられないケースが多くあります。一方で、下北沢の「修復型再開発」に注目が集まっています。長年の街づくりをめぐる鋭い対決構造を、粘り強く「住民参加」の場をつくり事業者側とも共通の価値観を形成することに成功しました。「千代田区」と「下北沢」の報告から、市民・事業者、自治体をつなぐ参加と協働の可能性を考えます。

4

#### 子育て、介護…… 〈ケア〉を社会のまんやかに

##### 〈ケアの倫理〉から ケアの意味を捉え直す

佐藤香織 (神奈川大学講師)  
宮子あずさ (看護師、エッセイスト)  
間庭尚之 (江東区議会議員、社会福祉士)

子育て、介護など、人の命と暮らしを支えるケアは、女性ならば誰でもできる仕事として、軽視されてきたのではないのでしょうか。ケア軽視は、命と暮らしの軽視。ケアを社会にきちんと位置づける、そんな社会を作りたい。〈ケアの倫理〉の基本を知り、ケアについて語りあいます。

2

#### 地域主権 (ミュニシパリズム) を 実現するための戦略

##### 政策づくりから選挙、そして運動の UPDATE まで

岸本聡子 (杉並区長)  
井崎敦子 (京都市議会議員)  
さこうもみ (武蔵野市議会議員)  
内田聖子 (杉並区民)

今の日本で、公共の再生や地域主権、参加型民主主義はどのように実践できるでしょうか？ 市民が政策をつくって選挙を闘い、首長・議員を誕生させること、地域に変革をもたらすための運動の継続など、一連の流れをイメージし、それぞれの取り組みに不可欠な価値を共有します。参加者のグループディスカッションの時間も使ってそれぞれの活動をアップデートしましょう！

5

#### 差別禁止条例を全国に広げよう！

師岡康子 (弁護士)  
瀧大知 (外国人入権法連絡会)  
白井和宏 (市民セクター政策機構)

神奈川県相模原市では「人種、民族、国籍、障害、性的指向、性自認、出身」を理由とする差別的言動を止めるため、画期的な条例案が審議会から答申されました。相模原市長は答申を骨抜きにした条例案を議会に提出しましたが、この画期的な条例案を全国の自治体で制定する方法(市民・議員・首長の役割)を考えます。

3

#### エネルギー基本計画の改定と 自治体からの気候政策

吉田明子 (国際環境 NGO FoE Japan)  
ブランシャール明日香 (杉並区議会議員)  
漢人あきこ (都議会議員)  
平賀達也 (日本ランドスケープアーキテクト連盟副会長)

昨年の COP28 では「脱化石燃料」「再エネ3倍」が合意され、来年早々には新しい温室効果ガス削減目標の報告が求められています。今年予定されるエネルギー基本計画の改定はとても重要です。断熱、再エネ、グリーンインフラなど自治体からの気候政策の先進例や可能性とあわせて学びエンパワーしましょう。

6

#### 緊急避妊薬のアクセス改善の 突破口を探す

##### SRHR (性と生殖に関する健康と 権利) 推進へ地方政治の役割

鶴田七瀬 (ソウレッジ代表)  
福田和子 (#なんでないのプロジェクト代表)  
能條桃子 (FIFTYS PROJECT)  
岩永やす代 (都議会議員)

宗教右派、保守勢力の抵抗で日本が進まない SRHR。自治体から変化を起こすことのできることはないのか？ 薬局販売の試験運用が始まった緊急避妊薬のアクセスについて現状と地方政治の役割を考えます。

